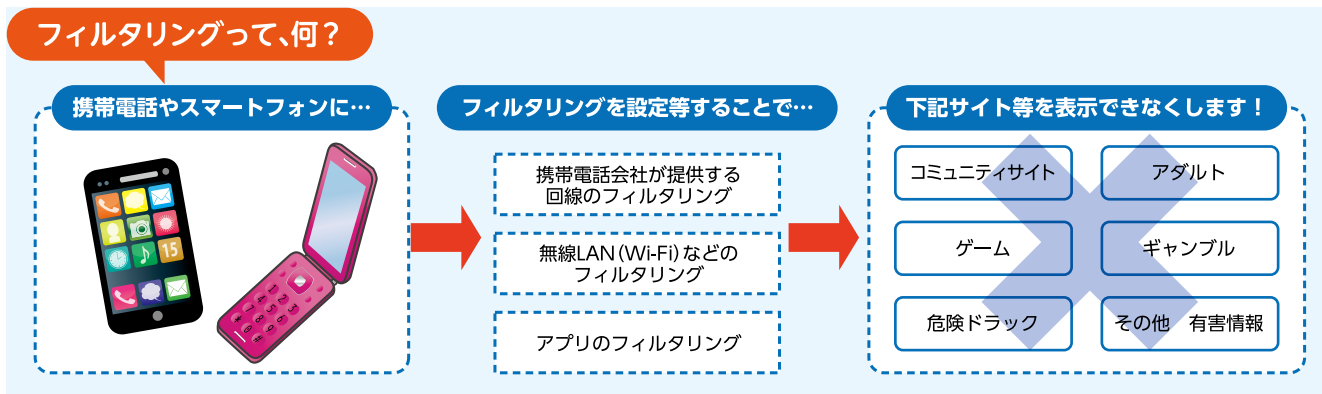


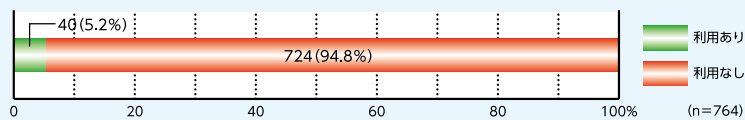
子供たちを有害情報から守る「フィルタリング」は頼れる味方!

家庭でのルール作りとあわせて、子供たちに携帯電話やスマートフォン等を使用させる場合には、フィルタリングサービスの加入が不可欠です。フィルタリングで防げるものは以下のとおりです。



「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」第6条により、18歳未満の子供に携帯電話等を使用させる場合は、フィルタリングの利用は**保護者の責務**とされています。しかし、犯罪被害を受けた子供のフィルタリング利用状況を見ると、「利用なし」が圧倒的に多いです。

コミュニティサイトに起因する犯罪被害を受けた子供のフィルタリング利用状況



また、東京都が実施しているネット等のトラブル相談機関「こたエール」の相談事例からの分析では、相談事例の中でフィルタリングがあれば防げたトラブル事例は、83%にも及びました(平成27年度「こたエール相談」実績より)。

フィルタリングを利用しましょう!

フィルタリングの話をする、という質問を子供からされる、という意見をよく聞きます。

子供

フィルタリングをかけると、みんなが使っている無料通話アプリが利用できなくなるの?

親

自分たちでアクセス制限の範囲を考えられるフィルタリングもあるよ。どういうサイトを見られるようにするか、一緒に考えてみよう。

その場合は、次のように答えてみてください。

もちろん「無料通話アプリ」を制限する方法もありますが、家庭の事情や子供の成長に合わせて閲覧可能なサイトを選ぶことができる「カスタマイズ機能」などもあります。

子供たちが見ようとしているサイトがどういうものなのか親子でよく話し合い、フィルタリングの必要性を子供たちに理解させましょう。

フィルタリングについて「よくわからない」といった場合は、携帯電話会社等にお問い合わせください。

コラム

親子の対話と理解から生まれる「家庭のルール作り」

「夜遅くまでゲームアプリで遊んでいる」、「おもしろい動画を撮影して投稿する遊びばかりしている」、「直接友達と話をせずいつもメッセージのやり取りばかりしている」という悩みを親が抱えていても、子供がSNS等を自由自在に使いこなしているため、「みんなもやっているから大丈夫」と言われてしまうと、上手にインターネットの危険性やルールの必要性を説明できないときもあります。

しかし、インターネット社会において知っておきたい、身に付けておきたいルールは、現実の社会で子供が家庭や学校を通して身に付ける礼儀や常識といった社会のルールと同じように重要です。

親自身の経験を活かし、親子でコミュニケーションを取りながら**家庭のルール**を作って実践し、子供を有害情報から守り、規則正しい生活のリズムを作っていきましょう。

